

2024年4月22日号

Weekly Market Report

SMBC信託銀行 投資調査部レポート

2024年4月22日

目次

株式会社SMBC信託銀行 投資調査部
山口真弘 二宮圭子 合澤史登 祖父江康宏 四十内宏至

マクロ経済

» P 2~P 3

- 米国経済 » 消費・生産ともに持ち直す
- 欧州経済 » サービスは高インフレが続くなかでも、緩やかに鈍化
- 日本経済 » 設備投資に復調の兆し
- 中国経済 » 1-3月期は目標を上回るペースで成長

株式市場の見通し

» P 4

- 米国株 » 決算発表を手掛かりに株価反発となるか
- 欧州株 » 決算発表が本格化
- 日本株 » 日米の半導体・ハイテク大手の決算発表に注目

債券市場の見通し

» P 5

- 米国債 » PCEデフレーター、FOMCを控えて方向性は表れづらい
- ユーロ圏国債 » 利回り上昇につながるかは、景況感関連指標を注目したい
- 日本国債 » 国債買い入れ方針の修正を警戒

為替見通し

» P 6~P 7

- 米ドル » 米金利に連動し、上下両方向の可能性
- ユーロ » 米欧金利差の拡大が重しに
- 豪ドル » 投資家心理改善が進まず、上値は重い
- ポンド » 労働市場の減速が示唆され上値は重い

金融政策カレンダー

マーケット・データ、カレンダー

» P 8~P 10

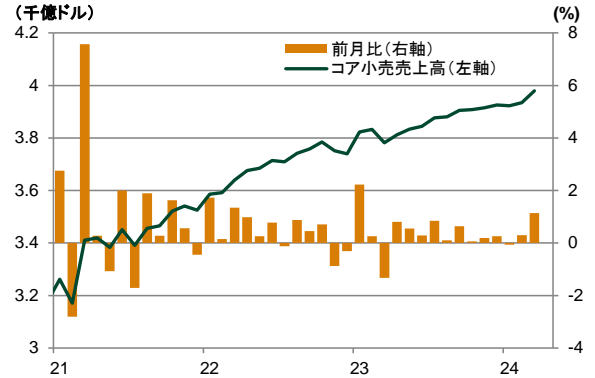
資料は、株式会社SMBC信託銀行(以下「当行」といいます)が経済や市況、投資環境に関する情報提供のみを目的として作成しており、金融商品取引法に基づく開示資料でも特定ファンドの勧誘資料でもありません。当行はここに記載された情報が十分信頼に足るものとして信じておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来を約束するものではありません。なお、予測や見通しについては、その旨を明記しております。本資料に掲載された予測や見通しは発行時点のものであり、今後予告なしに変更されることがあります。投資の選択や投資時期の決定は必ずご自身の判断でなさるようお願いいたします。本資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても、当行は責任を負いません。なお、本資料の一部又は全部を問わず、当行の許可なしに複製や再配布することを禁じます。

米国・欧州経済

米国経済 ≫ 消費・生産ともに持ち直す

米国 コア小売売上高(季節調整値)

- 3月の小売売上高(前月比0.7%増)は上方修正された2月に続いて大幅増となった。ガソリン価格上昇を反映し、ガソリンスタンドが大きく寄与した。GDP統計で個人消費の基礎データとなる自動車、外食、建材、ガソリン除くコア売上高(同1.1%増)も大幅に増加した。無店舗販売も急増した一方で電子機器・家電、衣服・装飾品は減少し品目別では増減分かれたが、基調的には個人消費の増勢が再び強まっている。
- 3月の鉱工業生産(前月比0.4%増)は、2カ月連続で増加した。前月分も上方修正され、昨冬の落ち込みからの復調が明確となった。自動車、化学製品、輸送設備が前月に続いて大幅増となった。設備稼働率(78.4%、同0.2%ポイント上昇)も2カ月連続で上昇し、生産活動が復調しつつあることが示された。
- 3月の住宅着工件数(年率換算132.1万戸、前月比14.7%減)は大幅に減少し、単月では7カ月ぶりの低水準となった。先行指標である住宅着工許可件数(年率換算145.8万戸、同4.3%減)も8カ月ぶりの水準まで落ち込んでおり、住宅投資の停滞が示唆されている。(祖父江)

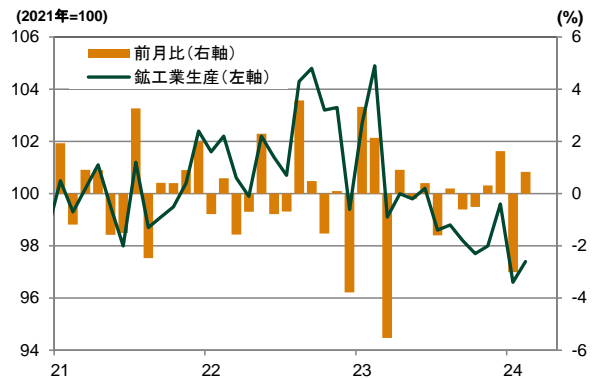


出所:米商務省

欧州経済 ≫ サービスは高インフレが続くなかでも、緩やかに鈍化

ユーロ圏 鉱工業生産(季節調整値)

- 2月のユーロ圏鉱工業生産(前月比0.8%増)は2カ月ぶりに増加したが、増加率は1月の減少率を大きく下回り、生産水準は下降傾向が続いている。財別の内訳では、中間財、資本財、耐久消費財が増加したものの、エネルギー生産が大幅減少した。
- 3月のユーロ圏消費者物価指数(HICP、改定値、前年比2.4%上昇)は速報値から変わらなかった。改定値で明らかとなった品目別内訳をみると、教育、飲食店・ホテルなど労働集約的な一部のサービス品目では高インフレが続いているものの、多くの品目で上昇ペースは鈍化している。
- 2月のユーロ圏経常収支(295億ユーロ黒字)は3カ月ぶりに黒字額が縮小した。財収支の黒字が減少したものの、引き続き大幅黒字を計上している。また、世界的な製造業活動の復調により輸出額も増加基調にある。(祖父江)



出所:欧州連合(EU)統計局

資料は、株式会社SMBC信託銀行(以下「当行」といいます)が経済や市況、投資環境に関する情報提供のみを目的として作成しており、金融商品取引法に基づく開示資料でも特定ファンドの勧誘資料でもありません。当行はここに記載された情報が十分信頼に足るものとして信じておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来を約束するものではありません。なお、予測や見通しについては、その旨を明記しております。本資料に掲載された予測や見通しは発行時点のものであり、今後予告なしに変更されることがあります。投資の選択や投資時期の決定は必ずご自身の判断でなさるようお願いいたします。本資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても、当行は責任を負いません。なお、本資料の一部又は全部を問わず、当行の許可なしに複製や再配布することを禁じます。

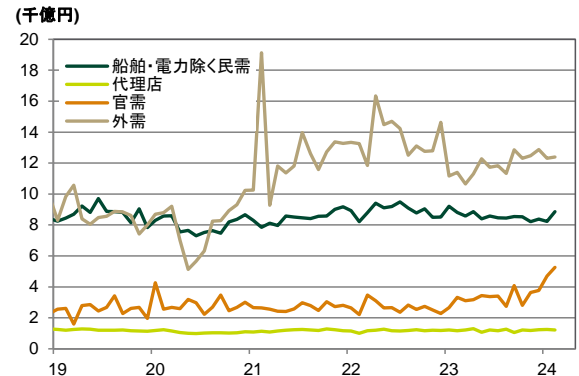
2024年4月22日

日本・中国経済

日本経済 》 設備投資に復調の兆し

日本 機械受注(需要者別、季節調整値)

- 2月の機械受注統計では、民間設備投資の先行指標となる船舶・電力を除く民需(前月比7.7%増)が大幅に増加した。製造業、非製造業ともに大幅増加となり、単月の受注額は1年1カ月ぶりの高水準となった。27業種中22業種で増加し、情報通信機械、電気機械などで増加が目立った。
- 3月の貿易統計では、輸出(前月比2.6%増)、輸入(同3.9%増)ともに増加した。輸出では自動車、半導体等電子部品、船舶など、輸入は航空機類がそれぞれ大幅に増加した。エネルギー関連の輸入は抑制されているものの、輸入額が輸出額を上回る増加率となり、貿易収支(7015億円赤字)の赤字が拡大した。
- 3月の全国消費者物価指数(CPI)では、生鮮食品を除くコアCPI(前年比2.6%上昇)、生鮮食品・エネルギーを除くコアCPI(同2.9%上昇)ともに上昇ペースが鈍化した。生鮮食品を除く食料などで上昇が抑制され、インフレの勢いは弱まっている。また、宿泊料など大幅上昇が続く一部のサービス品目でもインフレ加速には歯止めがかかりつつある。(祖父江)

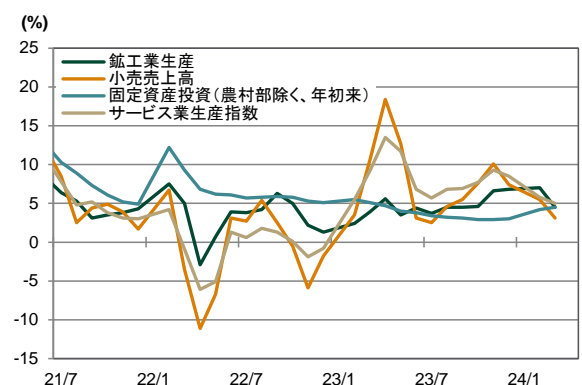


出所: 内閣府

中国経済 》 1-3月期は目標を上回るペースで成長

中国 主要経済指標(前年比)

- 1-3月期の実質GDP成長率(前年比5.3%、前期比1.6%)は前年比では2四半期連続で上昇ペースが加速し、前期比でも政府目標である年率5%を上回る成長となった。世界的な製造業活動の復調により第2次産業の成長加速が目立った。
- 3月の主要経済指標では、鉱工業生産(前年比4.5%増)、小売売上高(同3.1%増)、サービス業生産指数(同5.0%上昇)の増加・上昇ペースが鈍化し、固定資産投資(農村部除く、年初来同4.5%増)は増勢を強めた。ゼロコロナ政策解除後の経済活動の急回復により大幅増を記録した前年同期の反動で勢いは弱まったものの、回復自体は続いている。
- 3月の不動産関連指標では、不動産開発投資(年初来前年比9.5%減少)や主要70都市新築住宅価格指数(ロイター算出値、前年比2.2%低下)の減少・低下率が拡大した一方、不動産販売(床面積ベース、年初来同23.4%減)は大幅減少ながらも減少率は縮小した。不動産市場の調整は続いているものの、急激な悪化に歯止めがかかる指標も表れ始めている。(祖父江)



出所: 中国国家统计局

資料は、株式会社SMBC信託銀行(以下「当行」といいます)が経済や市況、投資環境に関する情報提供のみを目的として作成しており、金融商品取引法に基づく開示資料でも特定ファンドの勧誘資料でもありません。当行はここに記載された情報が十分信頼に足るものとして信じておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来を約束するものではありません。なお、予測や見通しについては、その旨を明記しております。本資料に掲載された予測や見通しは発行時点のものであり、今後予告なしに変更されることがあります。投資の選択や投資時期の決定は必ずご自身の判断でなさるようお願いいたします。本資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても、当行は責任を負いません。なお、本資料の一部又は全部を問わず、当行の許可なしに複製や再配布することを禁じます。

2024年4月22日

株式市場の見通し

米国株 >> 決算発表を手掛かりに株価反発となるか

週間騰落率(4/15~4/19)

ダウ平均: +0.01%、S&P500: -3.05%

- ダウ平均は3週ぶりに小幅反発、S&P500は3週続落。パウエル米連邦準備理事会(FRB)議長が高インフレの継続に警戒感を示したほか、FRB高官が利下げに慎重な姿勢を示し、ハイテク株の重しとなった。また、台湾の半導体受託生産大手が業績見通しを下方修正したことで、米国でも関連銘柄に売りがかさんだ。
- 中東情勢の緊迫化がエスカレートする懸念は和らいだものの警戒感拭えず、株価急落リスクを意識したい。また、今週から来週にかけてハイテク大手など米主要企業の1-3月期決算が相次いで発表される。市場予想を上回る決算内容が株価反発のきっかけとなる展開を想定するが、市場予想を下振れる結果となれば株価調整が一段と深まるおそれがあり、警戒したい。(山口)

S&P500種株価指数



欧州株 >> 決算発表が本格化

週間騰落率(4/15~4/19)

ストックス欧州 600 指数: -1.18%、独 DAX 指数: -1.08%

- ストックス欧州600指数は3週続落。中東情勢の緊迫化に加え、域内国債利回りの高止まりへの懸念が株価を下押しした。フランスの高級ブランド大手やドイツのスポーツ用品大手の決算が好感され株価は下支えされたものの持ち直しの勢いは強まらず、同指数は500ポイントを割り込み、膠着したまま越週となった。
- 同指数構成企業で四半期決算発表を予定している297社のうち、今週中に100社が決算発表を行う。決算内容や業績見通しを手掛かりに個別株を物色する相場展開が想定される。金融情報会社LSEG I/B/E/Sによれば、同指数の1-3月期予想一株当たり利益(EPS)は前年比12.1%減まで下方修正されており、市場予想を上回る決算発表が株価を下支えすることが期待される。(山口)

ストックス欧州 600 指数



日本株 >> 日米の半導体・ハイテク大手の決算発表に注目

週間騰落率(4/15~4/19)

日経平均株価: -6.21%、TOPIX: -4.83%

- 日経平均、TOPIXは大幅反落。日米国債利回りの上昇が株価の重しとなるなか、オランダの半導体製造装置大手の決算が市場予想を下回ったほか、台湾の半導体受託生産大手が売上高見通しを下方修正したことが嫌気された。週末には中東情勢の緊迫化も相まって、日経平均は一時3万6700円台まで下落した。
- イスラエルとイランの戦闘が激化するとの見方が強まらなければ、地政学リスクに伴う株価急落への警戒感は和らぐだろう。今週は日米で半導体大手やハイテク大手の決算発表が予定され、人工知能(AI)関連の需要拡大による業績改善が改めて確認されるか見極めたい。また、週末の日銀金融政策決定会合に向けて、本邦国債利回りの上昇懸念が強まるか注目したい。(山口)

日経平均株価



資料は、株式会社SMBC信託銀行(以下「当行」といいます)が経済や市況、投資環境に関する情報提供のみを目的として作成しており、金融商品取引法に基づく開示資料でも特定ファンドの勧誘資料でもありません。当行はここに記載された情報が十分信頼に足るものとして信じておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来を約束するものではありません。なお、予測や見通しについては、その旨を明記しております。本資料に掲載された予測や見通しは発行時点のものであり、今後予告なしに変更されることがあります。投資の選択や投資時期の決定は必ずご自身の判断でなさるようお願いいたします。本資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても、当行は責任を負いません。なお、本資料の一部又は全部を問わず、当行の許可なしに複製や再配布することを禁じます。

2024年4月22日

債券市場の見通し

米国債 >> PCEデフレーター、FOMCを控えて方向性は表れづらい

利回り (4/19)

米 10 年国債: 4.62% (前週末比: +0.12%)

- 10年国債は続落(利回りは上昇)。パウエル米連邦準備理事会(FRB)議長をはじめ多くのFRB高官が早期利下げに慎重な見解を示し、米利下げ観測後退とともに米国債利回り上昇の流れが続いた。米10年国債利回りは週前半に4.69%台後半まで上昇したが、中東情勢緊迫化などにより、週末には上昇幅を縮めた。
- 今週は金融政策関連のFRB高官の発言が自粛され、週末に3月の個人消費支出(PCE)デフレーターの発表、翌週に米連邦公開市場委員会(FOMC)を控えて米金利の明確な方向性は表れづらい。週末までは政策金利の高止まりや中東情勢の不確実性が意識されるなかで、今後の政策金利経路の影響を受けやすい米2、5、7年国債入札結果によって変動する展開か。(祖父江)

米国債利回り



出所: Refinitiv

ユーロ圏国債 >> 利回り上昇につながるかは、景況感関連指標を注目したい

利回り (4/19)

独 10 年国債: 2.51% (前週末比: +0.15%)

- ドイツ(独)10年国債は反落(利回りは上昇)。週央までは、米利下げ観測の一段の後退に伴う米金利上昇の流れが波及し、独10年国債利回りは2.50%付近まで上昇した。ただ、欧州中銀(ECB)の6月利下げ開始観測は根強く、利回りの一段高にはつながらなかった。ただし、週末には中東情勢を巡る話題で大きく高下する時間帯があるなど、不安定な時間帯が続いた。
- 今週は景況感関連指標に注目したい。市場予想では、4月のユーロ圏PMI速報値は50.8へ、同月の独Ifo企業景況感指数は88.8へ、それぞれ改善の見通し。独10年国債利回りは不安定ながらも、ユーロ圏景気の回復期待が一段と高まれば、2.52%を上抜けて昨年11月以来の高水準で推移する可能性も。(合澤)

ドイツ国債利回り



出所: Refinitiv

日本国債 >> 国債買い入れ方針の修正を警戒

利回り (4/19)

10 年国債: 0.84% (前週末比: -0.03%)

- 10年国債は上昇(利回りは低下)。米利下げ観測の一段の後退に伴う米国債利回りの上昇につれる動きとなった。また、ドル円の上昇を受けて日銀の追加利上げ観測が強まり、10年国債利回りには上昇圧力がかかった。中東情勢の緊迫化を受けて安全資産需要が強まり、週末にかけて利回りは低下に転じた。
- イスラエルとイランの戦闘が激化するとの見方が強まらなくても、資源価格の高止まりは円安と相まって輸入物価の押し上げを通じて日銀に追加利上げを促すとの見方があり、利回り低下圧力がかかりにくい地合いか。週末の日銀金融政策決定会合で政策修正は見込まれないが、国債買い入れ方針の修正が示唆されれば金利上昇圧力が強まる可能性があり、注視したい。(山口)

日本国債利回り



出所: Refinitiv

資料は、株式会社SMBC信託銀行(以下「当行」といいます)が経済や市況、投資環境に関する情報提供のみを目的として作成しており、金融商品取引法に基づく開示資料でも特定ファンドの勧誘資料でもありません。当行はここに記載された情報が十分信頼に足るものとして信じておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来を約束するものではありません。なお、予測や見通しについては、その旨を明記しております。本資料に掲載された予測や見通しは発行時点のものであり、今後予告なしに変更されることがあります。投資の選択や投資時期の決定は必ずご自身の判断でなさるようお願いいたします。本資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても、当行は責任を負いません。なお、本資料の一部又は全部を問わず、当行の許可なしに複製や再配布することを禁じます。

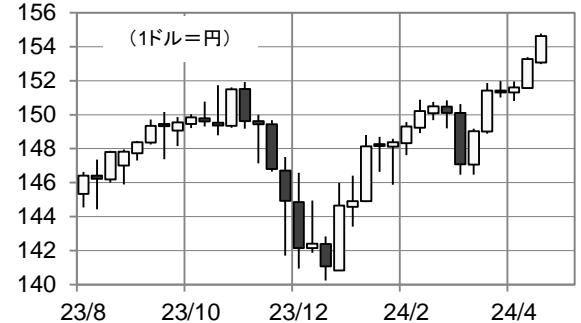
為替見通し(米ドル、ユーロ)

米ドル≫ 米金利に連動し、上下両方向の可能性

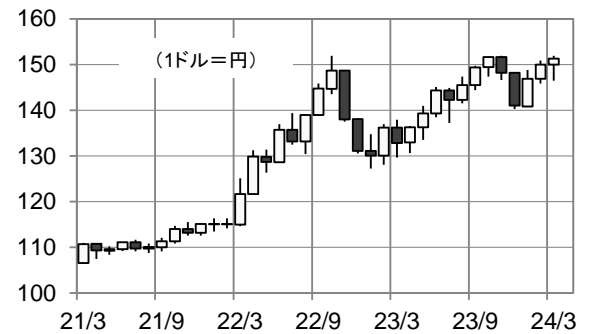
今週の予想レンジ ドル円: 152.50 -156.00

- 先週のドル円は3週続伸。週央までは、米小売売上高の堅調な結果や複数の米連邦準備理事会(FRB)高官が利下げに慎重な姿勢を示したことで、ドル円は154円台後半まで上値を伸ばした。その後は日米韓の財務相会合などをを受けて円買い介入に対する警戒感が高まったうえ、週末には中東情勢の緊迫化への懸念が一気に強まり、153円台後半まで下値を試す場面もあった。
- 今週のドル円は154円台を中心とした推移を予想するが、米金利との連動性の高さを保ったまま、上下両方向に振れる可能性がある。注目材料は中東情勢と日米金融政策を巡る話題。前者では、イランとイスラエルによる報復措置がエスカレートするとの懸念がくすぶる一方、双方とも戦闘拡大を望まない思惑では一致しており、リスク回避ムードは一服の見込み。追加報道に伴う米金利の値動きに、ドル円は素直に反応しよう。金融政策関連では、日銀金融政策決定会合と3月の米個人消費支出(PCE)価格指数に注目が集まる。日銀が早期の追加利上げを示唆せず、そのうえで米国の年内利下げ観測後退を迫認する結果となれば、ドル円は156円へ向けて一段高の可能性も。(合澤)

ドル円(週足)



ドル円(月足)



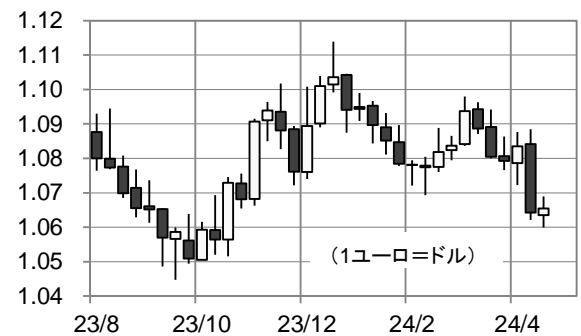
出所: Refinitiv

ユーロ≫ 米欧金利差の拡大が重しに

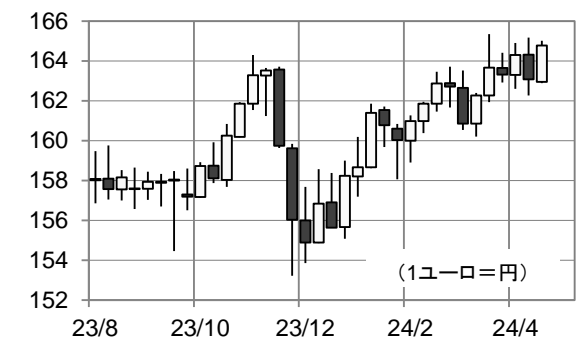
今週の予想レンジ ユーロドル: 1.0500-1.0750
ユーロ円: 162.50-165.50

- 先週のユーロは反発。米経済指標や米連邦準備理事会(FRB)高官の発言を受けたドル高が重しとなった一方、4月のドイツ(独)ZEW景気期待指数が市場予想を上回るなどしてユーロを支えた。週末にはイスラエルがイランへ報復攻撃を行ったと伝わるなど、中東情勢を巡る関連報道に振られた。対ドルは1.06ドルを中心に高下後、同後半で小幅高。対円はドル円の上昇を支えに、162円台後半から165円ちょうど付近まで持ち直した。
- 市場予想では4月のユーロ圏総合PMI速報値は50.8、独Ifo企業景況感指数は88.8と、ともに前月から上昇する見通しで域内景気の改善期待が維持されよう。ただし、複数の欧州中銀(ECB)高官が年内複数回の利下げに言及するなか、利下げ先送りが意識されるFRBとの金融政策姿勢の違いを背景に、米独10年国債利回り差は2019年末以来の水準へ拡大しており、ユーロの重しとなろう。中東情勢を巡る追加報道への警戒感も残るとみられ、ユーロは対ドル・対円ともに弱含みの展開を見込む。目先は対ドルが昨年11月安値(1.0515ドル)付近、対円は先週安値(162円88銭)付近をそれぞれ下値メドと予想する。(四十内)

ユーロドル(週足)



ユーロ円(週足)



出所: Refinitiv

資料は、株式会社SMBC信託銀行(以下「当行」といいます)が経済や市況、投資環境に関する情報提供のみを目的として作成しており、金融商品取引法に基づく開示資料でも特定ファンドの勧誘資料でもありません。当行はここに記載された情報が十分信頼に足るものとして信じておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来を約束するものではありません。なお、予測や見通しについては、その旨を明記しております。本資料に掲載された予測や見通しは発行時点のものであり、今後予告なしに変更されることがあります。投資の選択や投資時期の決定は必ずご自身の判断でなさるようお願いいたします。本資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても、当行は責任を負いません。なお、本資料の一部又は全部を問わず、当行の許可なしに複製や再配布することを禁じます。

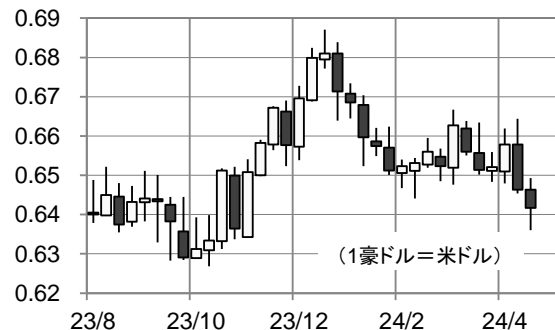
為替見通し(豪ドル、ポンド)

豪ドル≫ 投資家心理改善が進まず、上値は重い

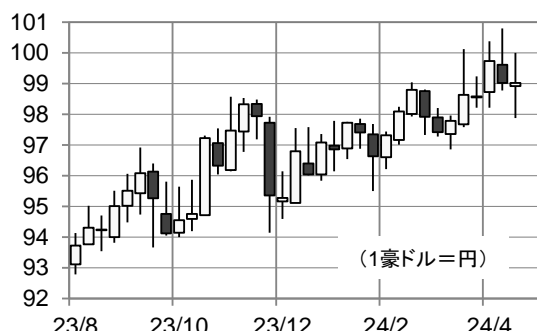
今週の予想レンジ
 豪ドル米ドル: 0.6300-0.6600
 豪ドル円: 97.80-100.80

- 先週の豪ドルは高安まちまち。週初は、中東情勢を巡る警戒感が幾分和らぎ、上昇する場面もあった。その後は、1-3月期の中国実質GDPは良好な結果だったが中国景気の回復期待は盛り上がりなかったうえ、3月の豪雇用統計もやや低調な結果となり、豪ドル米ドルは0.64米ドル台、豪ドル円は99円台をそれぞれ中心に、方向感を探った。週末にはイスラエルによるイランへの報復措置実行が伝わり、0.63米ドル台後半と97円台後半まで急落したが、0.64米ドル台前半と99円台前半へ値を戻しての越週に。
- 今週の豪ドルは上値が重いと予想。中東情勢の緊迫化を巡る懸念や米国の利下げ慎重姿勢が意識されやすく、投資家心理の動向を通じて高リスク通貨である豪ドルの逆風となる見込み。1-3月期の豪消費者物価指数(CPI)が公表されるが、豪中銀(RBA)が注目するトリム平均値は、市場予想で前年比3.8%上昇へ伸び鈍化の見通し。金利面での豪州の優位性が徐々に薄らぐなか、豪ドル反発にはつながりにくいとみる。豪ドル米ドルと豪ドル円は19日安値(0.6360米ドル、97円88銭)付近で底堅さが示されるか、注目したい。(合澤)

豪ドル米ドル(週足)



豪ドル円(週足)



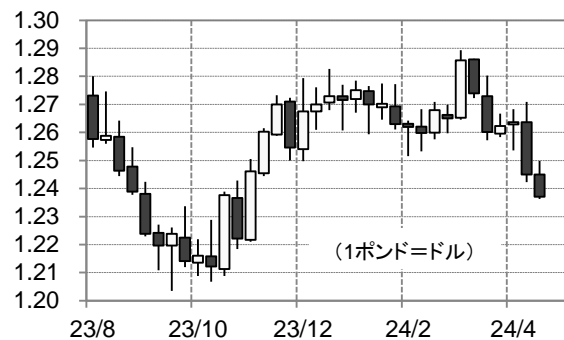
出所: Refinitiv

ポンド≫ 労働市場の減速が示唆され上値は重い

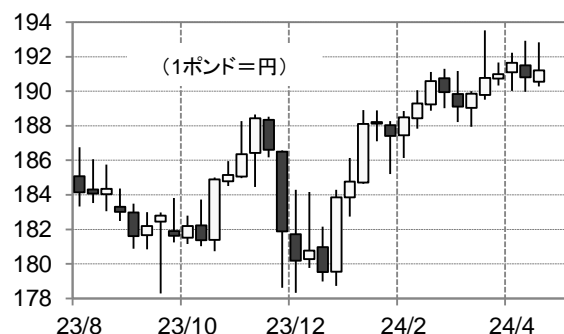
今週の予想レンジ
 ポンド米ドル: 1.2200-1.2500
 ポンド円: 189.50-193.00

- 先週のポンドは高安まちまち。2023年12月-2024年2月の失業率は4.2%へ上昇、賃金上昇率(ボーナス除く)は前年比6.0%と2022年7-9月期以来の低水準に鈍化し、労働市場の減速が示唆された。3月の消費者物価指数(CPI)上昇率は前年比3.2%と2年半ぶりの低水準を付けたものの、小売売上高は前月比横ばいと消費低迷を裏付けた。ポンドドルは1.25ドルちょうど付近で上値の戻りは鈍く、1.23ポンド台後半まで下落。ポンド円は190円台前半から192円台後半で高下しながらも週間ベースで反発した。
- 3月CPIではサービス部門のインフレ率が依然として高く、英中銀(BOE)も利下げ開始を先送りするとの見方が浮上した。金利先物市場では利下げ開始は8月が70%強、9月は80%強の織り込み。BOEの利下げ開始が先送りされれば、ポンドを支える一因となり得るが、中東情勢を巡る不透明感は根強く、英景気下振れのリスクも残る。ポンドドルの反発力は鈍く、26週移動平均線1.2594ドルや節目の1.2500ドルで上値は重いと予想。ポンド円は12日安値189円97銭を下抜けるとポンド高の調整が強まるとみている。(二宮)

ポンド米ドル(週足)



ポンド円(週足)



出所: Refinitiv

資料は、株式会社SMBC信託銀行(以下「当行」といいます)が経済や市況、投資環境に関する情報提供のみを目的として作成しており、金融商品取引法に基づく開示資料でも特定ファンドの勧誘資料でもありません。当行はここに記載された情報が十分信頼に足るものとして信じておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来を約束するものではありません。なお、予測や見通しについては、その旨を明記しております。本資料に掲載された予測や見通しは発行時点のものであり、今後予告なしに変更されることがあります。投資の選択や投資時期の決定は必ずご自身の判断でなさるようお願いいたします。本資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても、当行は責任を負いません。なお、本資料の一部又は全部を問わず、当行の許可なしに複製や再配布することを禁じます。

金融政策カレンダー



米国

FF金利上限

2024年	実績・予想	結果		内容	議事要旨
1月31日	(実績)	5.50%	→	据え置き	2月21日
3月20日*	(実績)	5.50%	→	据え置き	4月10日
5月1日	(予想)	5.25%	↓	0.25%利下げ	5月22日
6月12日*					7月3日
7月31日	(予想)	5.00%	↓	0.25%利下げ	8月21日
9月18日*					10月9日
11月7日	(予想)	4.75%	↓	0.25%利下げ	11月28日
12月18日*					1月8日

*経済予測公表



カナダ

2024年	実績・予想	結果		内容	議事要旨
1月24日	(実績)	5.00%	→	据え置き	2月7日
3月6日	(実績)	5.00%	→	据え置き	3月20日
4月10日	(実績)	5.00%	→	据え置き	4月24日
6月5日	(予想)	4.75%	↓	0.25%利下げ	6月19日
7月24日	(予想)	4.50%	↓	0.50%利下げ	8月7日
9月4日					9月18日
10月23日	(予想)	4.25%	↓	0.25%利下げ	11月6日
12月11日					12月25日



ユーロ圏

預金ファンリティ金利

2024年	実績・予想	結果		内容	議事要旨
1月25日	(実績)	4.00%	→	据え置き	2月22日
3月7日*	(実績)	4.00%	→	据え置き	4月4日
4月11日	(実績)	4.00%	→	据え置き	5月10日
6月6日*	(予想)	3.75%	↓	0.25%利下げ	7月4日
7月18日	(予想)	3.50%	↓	0.50%利下げ	8月22日
9月12日*					10月10日
10月17日	(予想)	3.25%	↓	0.25%利下げ	11月14日
12月12日*					1月16日

*経済予測公表



英国

2024年	実績・予想	結果		内容
2月1日	(実績)	5.25%	→	据え置き
3月21日	(実績)	5.25%	→	据え置き
5月9日	(予想)	5.00%	↓	0.25%利下げ
6月20日				
8月1日	(予想)	4.75%	↓	0.25%利下げ
9月19日				
11月7日	(予想)	4.50%	↓	0.25%利下げ
12月19日				



豪州

2024年	実績・予想	結果		内容	議事要旨
2月6日	(実績)	4.35%	→	据え置き	2月20日
3月19日	(実績)	4.35%	→	据え置き	4月2日
5月7日	(予想)	4.35%	→	据え置き	5月21日
6月18日					7月2日
8月6日	(予想)	4.10%	↓	0.25%利下げ	8月20日
9月24日					10月8日
11月5日	(予想)	3.85%	↓	0.25%利下げ	11月19日
12月10日					12月24日



NZ

2024年	実績・予想	結果		内容
2月28日	(実績)	5.50%	→	据え置き
4月10日	(実績)	5.50%	→	据え置き
5月22日	(予想)	5.50%	→	据え置き
7月10日	(予想)	5.50%	→	据え置き
8月14日				
10月9日	(予想)	5.25%	↓	0.25%利下げ
11月27日				



日本

1月までは日銀当座預金付利金利を参照
3月以降無担保コール翌日物金利(上限)

2024年	実績・予想	結果		内容	主な意見	議事要旨
1月23日*	(実績)	-0.10%	→	据え置き	1月31日	3月25日
3月19日	(実績)	0.10%	↑	操作目標変更	3月28日	5月2日
4月26日*	(予想)	0.10%	→	据え置き	5月9日	6月19日
6月14日					6月24日	8月5日
7月31日*	(予想)	0.10%	→	据え置き	8月8日	9月26日
9月20日					10月1日	11月6日
10月31日*	(予想)	0.25%	↑	0.15%利上げ	11月11日	12月24日
12月19日					12月27日	未定


*「経済・物価情勢の展望」公表

緊急会合


出所: 各国中央銀行
予想は当行による

資料は、株式会社SMBC信託銀行(以下「当行」といいます)が経済や市況、投資環境に関する情報提供のみを目的として作成しており、金融商品取引法に基づく開示資料でも特定ファンドの勧誘資料でもありません。当行はここに記載された情報が十分信頼に足るものとして信じておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来を約束するものではありません。なお、予測や見通しについては、その旨を明記しております。本資料に掲載された予測や見通しは発行時点のものであり、今後予告なしに変更されることがあります。投資の選択や投資時期の決定は必ずご自身の判断でなさるようお願いいたします。本資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても、当行は責任を負いません。なお、本資料の一部又は全部を問わず、当行の許可なしに複製や再配布することを禁じます。

金融政策カレンダー

 スウェーデン

2024年	実績・予想	結果	内容	議事要旨
2月1日	(実績)	4.00%	→ 据え置き	2月7日
3月27日	(実績)	4.00%	→ 据え置き	4月4日
5月8日	(予想)	3.75%	↓ 0.25%利下げ	5月15日
6月27日				7月3日
8月20日	(予想)	3.50%	↓ 0.25%利下げ	8月26日
9月25日				10月1日
11月7日	(予想)	3.00%	↓ 0.50%利下げ	11月13日
12月19日				1月2日

 ノルウェー

2024年	実績・予想	結果	内容
1月25日	(実績)	4.50%	→ 据え置き
3月21日	(実績)	4.50%	→ 据え置き
5月3日	(予想)	4.50%	→ 据え置き
6月20日			
8月15日	(予想)	4.25%	↓ 0.25%利下げ
9月19日			
11月7日	(予想)	4.00%	↓ 0.25%利下げ
12月19日			

 南アフリカ


2024年	実績・予想	結果	内容
1月25日	(実績)	8.25%	→ 据え置き
3月27日	(実績)	8.25%	→ 据え置き
5月30日	(予想)	8.25%	→ 据え置き
7月18日	(予想)	8.00%	↓ 0.25%利下げ
9月19日			
11月21日	(予想)	7.75%	↓ 0.25%利下げ

 トルコ


2024年	実績・予想	結果	内容	議事要旨
1月25日	(実績)	45.00%	↑ 2.50%利上げ	2月1日
2月22日	(実績)	45.00%	→ 据え置き	2月29日
3月21日	(実績)	50.00%	↑ 5.00%利上げ	3月28日
4月25日	(予想)	50.00%	→ 据え置き	5月3日
5月23日				5月30日
6月27日	(予想)	50.00%	→ 据え置き	7月3日
7月25日				8月1日
8月22日				8月29日
9月19日	(予想)	45.00%	↓ 5.00%利下げ	9月26日
10月17日				10月24日
11月21日	(予想)	45.00%	↓ 5.00%利下げ	11月28日
12月26日				1月3日

 インド レポート


2024年	実績・予想	結果	内容	議事要旨
2月8日	(実績)	6.50%	→ 据え置き	2月22日
4月5日	(実績)	6.50%	→ 据え置き	4月19日
6月7日	(予想)	6.50%	→ 据え置き	6月21日
8月8日	(予想)	6.25%	↓ 0.25%利下げ	8月22日
10月9日	(予想)	6.00%	↓ 0.25%利下げ	10月23日
12月6日				12月20日

 ブラジル

2024年	実績・予想	結果	内容	議事要旨
1月31日	(実績)	11.25%	↓ 0.50%利下げ	2月6日
3月20日	(実績)	10.75%	↓ 0.50%利下げ	3月26日
5月8日	(予想)	9.75%	↓ 1.00%利下げ	5月14日
6月19日				6月25日
7月31日	(予想)	9.25%	↓ 0.50%利下げ	8月6日
9月18日				9月24日
11月6日	(予想)	9.00%	↓ 0.25%利下げ	11月12日
12月11日				12月17日

 メキシコ

2024年	実績・予想	結果	内容	議事要旨
2月8日	(実績)	11.25%	→ 据え置き	2月22日
3月21日	(実績)	11.00%	↓ 0.25%利下げ	4月4日
5月9日	(予想)	10.50%	↓ 0.50%利下げ	5月23日
6月27日				7月11日
8月8日	(予想)	10.00%	↓ 0.50%利下げ	8月22日
9月26日				10月10日
11月14日	(予想)	9.50%	↓ 0.50%利下げ	11月28日
12月19日				1月9日

 : 緊急会合
 出所: 各国中央銀行
 予想はBloomberg集計の市場予想

資料は、株式会社SMBC信託銀行(以下「当行」といいます)が経済や市況、投資環境に関する情報提供のみを目的として作成しており、金融商品取引法に基づく開示資料でも特定ファンドの勧誘資料でもありません。当行はここに記載された情報が十分信頼に足るものとして信じておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来を約束するものではありません。なお、予測や見通しについては、その旨を明記しております。本資料に掲載された予測や見通しは発行時点のものであり、今後予告なしに変更されることがあります。投資の選択や投資時期の決定は必ずご自身の判断でなさるようお願いいたします。本資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても、当行は責任を負いません。なお、本資料の一部又は全部を問わず、当行の許可なしに複製や再配布することを禁じます。

2024年4月22日

マーケット・データ

(2024年4月19日時点)

株式

国・地域	指標	騰落率(%)		
		4/19	週間	年初来
米国	NYダウ工業株30種	37,986.40	0.01	0.79
米国	S&P500種	4,967.23	-3.05	4.14
米国	ナスダック総合株価指数	15,282.01	-5.52	1.80
ブラジル	ボベスパ指数	125,124.30	-0.65	-6.75
ヨーロッパ	ストックス欧州600指数	499.29	-1.18	4.24
イギリス	FT100指数	7,895.85	-1.25	2.10
ドイツ	DAX指数	17,737.36	-1.08	5.88
フランス	CAC40	8,022.41	0.14	6.35
ロシア	RTS指数	1,173.68	0.70	8.33
トルコ	istanbulナショナル100種	9,693.46	-1.23	29.76

国・地域	指標	騰落率(%)		
		4/19	週間	年初来
日本	日経平均株価	37,068.35	-6.21	10.77
日本	TOPIX	2,626.32	-4.83	10.98
日本	東証グロース市場指数	818.04	-6.55	-8.19
香港	ハンセン指数	16,224.14	-2.98	-4.83
中国	MSCI CHINA	54.08	-1.94	-3.34
中国	上海総合指数	3,065.26	1.52	3.04
韓国	韓国総合指数	2,591.86	-3.35	-2.39
台湾	加権指数	19,527.12	-5.83	8.90
シンガポール	ST指数	3,176.51	-1.26	-1.97
インド	センセックス指数	73,088.33	-1.56	1.17

債券

国・地域	指標	騰落率(%)※		
		4/19	週間	年初来
米国	10年国債利回り	4.62	0.12	0.76
ドイツ	10年国債利回り	2.51	0.15	0.48
日本	10年国債利回り	0.84	-0.03	0.22
豪州	10年国債利回り	4.25	-0.03	0.29

※債券利回りは変動幅(%)

オルタナティブ

国・地域	指標	騰落率(%)		
		4/19	週間	年初来
米国	NAREIT指数	679.35	-3.11	-10.48
日本	東証REIT指数	1,779.04	0.19	-1.55
米国	WTI原油先物価格	83.14	-2.94	16.04
米国	NY金価格	2,398.40	1.79	16.29

為替

通貨	騰落幅(円)		
	4/19	週間	年初来
ドル円	154.63	1.35	13.57
ユーロ円	164.74	1.62	9.07
英ポンド円	191.29	0.49	11.73
スウェーデンクローナ円	14.14	0.05	0.13
デンマーククローネ円	22.08	0.22	1.20
トルコリラ円	4.76	0.02	-0.03

通貨	騰落幅(円)		
	4/19	週間	年初来
加ドル円	112.39	1.13	5.93
豪ドル円	99.23	0.21	3.17
NZドル円	91.08	0.09	1.89
シンガポールドル円	113.54	0.96	6.68
中国人民元円(オフショア)	21.33	0.24	1.53
メキシコペソ円	9.03	-0.18	0.73

出所: Refinitiv、SMBC信託銀行

マーケット・カレンダー

(2024年4月22日~2024年4月29日)

	北米・南米			欧州・中東			アジア他		
4/22(月)									
4/23(火)	米	新築住宅販売件数	3月	欧	製造業・サービス業PMI	4月			
	米	製造業PMI	4月	英	製造業・サービス業PMI	4月			
4/24(水)	加	小売売上高	2月	独	Ifo企業景況感指数	4月	豪	消費者物価指数	1-3月期
	加	BOC金融政策会合議事要旨	4/10分				豪	消費者物価指数	3月
							NZ	貿易収支	3月
4/25(木)	米	GDP(速報値)	1-3月期	トルコ	金融政策発表		日	日銀金融政策決定会合	~26日
4/26(金)	米	PCEデフレーター	3月				豪	輸出入物価指数	1-3月期
	米	個人所得・支出	3月						
	メキシコ	失業率	3月						
4/27(土)									
4/28(日)									
4/29(月)				独	消費者物価指数(速報値)	4月			

出所: Bloomberg、Refinitiv、SMBC信託銀行

資料は、株式会社SMBC信託銀行(以下「当行」といいます)が経済や市況、投資環境に関する情報提供のみを目的として作成しており、金融商品取引法に基づく開示資料でも特定ファンドの勧誘資料でもありません。当行はここに記載された情報が十分信頼に足るものとして信じておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来を約束するものではありません。なお、予測や見通しについては、その旨を明記しております。本資料に掲載された予測や見通しは発行時点のものであり、今後予告なしに変更されることがあります。投資の選択や投資時期の決定は必ずご自身の判断でなさるようお願いいたします。本資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても、当行は責任を負いません。なお、本資料の一部又は全部を問わず、当行の許可なしに複製や再配布することを禁じます。